

科目名	通信システム 2						年度	2025	
英語科目名	Electronic Circuit 2						学期	前期	
学科・学年	電子・電気科 電子工学コース 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	野崎 里美	教員の実務経験		有	実務経験の職種		設計職（無線機器）		

【科目の目的】

情報のデジタル化、多重通信、多元接続、OFDMなど通信技術や送信受信機器の回路などについて学び、技術と資格を兼ね備えた技術者となることを目的とする。

【科目の概要】

デジタル通信技術など実際の通信機器について学びます

【到達目標】

- A: CDMA方式、ランダムアクセス方式を理解している。
- B: 信頼性確保と誤り訂正を理解している。
- C: 高速化のための技術を理解している。
- D: 携帯電話システム、無線LANシステムを理解している。
- E: 5Gを理解している。

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。第1級陸上特殊無線技士の認定に必要な科目である。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	CDMA方式、ランダムアクセス方式を理解し、具体的な説明ができる	CDMA方式、ランダムアクセス方式を理解し、説明できる	CDMA方式、ランダムアクセス方式を理解している	CDMA方式、ランダムアクセス方式のどちらか理解している	CDMA方式、ランダムアクセス方式を理解していない
到達目標 B	信頼性確保と誤り訂正を理解し、具体的な説明ができる	信頼性確保と誤り訂正を理解し、説明できる	信頼性確保と誤り訂正を理解している	信頼性確保と誤り訂正のどちらか理解している	信頼性確保と誤り訂正を理解していない
到達目標 C	高速化のための技術を理解している。を理解し、具体的な説明ができる	高速化のための技術を理解している。を理解し、説明できる	高速化のための技術を理解している	高速化のための技術OFDM、MIMOのどちらか理解している	高速化のための技術を理解していない
到達目標 D	携帯電話システム、無線LANシステムを理解し、具体的な説明ができる	携帯電話システム、無線LANシステムを理解し、説明できる	携帯電話システム、無線LANシステムを理解している	携帯電話システム、無線LANシステムのどちらか理解している	携帯電話システム、無線LANシステムを理解していない
到達目標 E	5Gを理解し、具体的な説明ができる	5Gを理解し、説明できる	5Gを理解している	5Gの広帯域、高信頼・低遅延、多数接続のどちらか理解している	5Gを理解していない

【教科書】

よくわかるワイヤレス通信 東京電機大学出版局

【参考資料】

レジュメ・資料を配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験：70%試験を総合的に評価する。小テスト：15%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：15%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

